

# 令和元年度 社会福祉法人八康会 事業報告

## 総 括

平成10年8月に特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ケアハウス、在宅介護支援センターを開設した当法人は、その後ヘルパーステーションや居宅介護支援事業所などを開設し、久御山町内の中核的な施設として地域との関わりを深めながら事業運営を行ってきた。

令和元年度から取り組みをはじめた外国人技能実習制度の活用については、現地でのトラブルにより面接が行えず、その後もウェブ活用によるスカイプ面接などを試みるが、昨今の新型コロナウイルスの全世界での感染拡大により面接が実施できない現状である。

以下、令和元年度事業計画における【重点項目】についての結果である。

### (利用者サービスの質の向上)

各事業所においては利用者の命と尊厳を守り、一人ひとりが楽しいと感じる暮らしと、健康で生きがいをもって日々の生活ができるように、利用者サービスの質の向上を第一に事業展開を図った。又、施設内虐待の未然防止に努めており、引き続き法人全体の身体的拘束適正化委員会を定期的開催し、職員への全体研修などを通じて、組織をあげて身体拘束ゼロ及びサービスの質の向上に取り組んだ。

### (人材確保)

全国的にも介護関係での人材不足が大きな課題となっており、10月に消費税増税に伴う介護報酬の改定による特定処遇改善加算が新たに新設されるなど職員の給与待遇面での改善は図れたものの、人材確保は喫緊の課題である。インターネットによる求人等を積極的に活用し、人材確保に努めた一方で、職員の離職防止を含めた対応を重点として、ワークライフバランスに配慮した働きがいのある、魅力ある職場づくりに取り組んだ。しかし、特に下半期に入ってから、新規の入職者確保に苦慮しており、夜勤勤務者が微減傾向にあるため、職員体制の充実強化が喫緊の課題である。また、当法人は、安心して働ける職場であることを示す「きょうと福祉人材育成認証制度」の認証事業所であり、今後も引き続き、職場の魅力向上と人材の育成及び定着に努めたい。

### **(危機管理システムの構築)**

各種リスクマネジメント対策の強化や事業を継続的に実施するための取り組みを強化することが求められているが、地域の自主防災訓練への参加や久御山町消防署の指導の下、消防総合訓練を実施し、普段からの自衛消防の緊急初期対応の強化や安全な避難誘導訓練を行った。

災害などの緊急事態に遭遇した場合に、被害を最小限にとどめて事業継続、早期復旧を行うことができるよう備えることが必要であり、小規模事業者とはいえ、事前準備対策や総合的な計画を策定することが引き続きの課題である。

### **(経営の安定化、ガバナンスの確立)**

経営面では、特に稼働率低下による減収を食い止めるため、特別養護老人ホームにおける入院者及び退所者発生後の空床運用の進め方やショートステイの稼働率向上を始めとして、とりわけ稼働率が低下している通所介護については、病院の医師や理学療法士、マッサージ師との連携・援助を受けながら、新たな加算の算定を行うとともに、利用者への減少傾向の中での稼働率確保を目指した。

今後も、あらゆる分野において経費の削減を徹底することと併せ、目標稼働率の達成や収入増に向けた取り組みを徹底する。

### **(地域との連携、地域貢献事業の展開)**

久御山南病院との合同夏まつりを始めとして、小学生との交流や中学生の体験学習受け入れ、利用者の外出支援など、地域の活性化、つながりの構築に向けて、多様な関係機関や個人との連携・協働を進めてきた。

法人職員は、地域で働いているという意識をもち、地域のさまざまな課題を解決していくことが求められている。社会福祉事業だけでなく、制度外のニーズにも対応することなども期待されていることを認識し、久御山町社会福祉協議会と連携しながら、さらに取り組んでいきたい。

今後も、社会福祉法人の責務としての「地域における公益的な取り組み」を進め、地域に信頼される施設づくりを目指すことが重要である。

# 1. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

定員 60 名

利用者一人一人に寄り添った介護の充実を図ることに重点を置き、個別処遇計画に基づく個別ケアを中心にサービス提供を行ってきた。介護職員数の減少や業務軽減を要する職員への対応に伴い、これまで以上に毎月の会議などで業務改善を行い、利用者と共に過ごす時間の確保や個別ケアの充実等継続できるよう努めた。サービスの質の低下を招くことなく、一定の効果はみられたが、介護職員の業務負担軽減等離職防止への取り組みは継続中である。

職員の資質向上については、施設外の研修に参加することや、各委員会（事故防止、身体拘束廃止、処遇改善、感染症対策、褥瘡予防対策）の主催や法人研修企画委員会による苑内研修を定期的に行い、職員の自己研鑽への意識、資質向上に繋げることができた。今後も、継続しながら個々のサービス内容の見直しも進め、よりよいサービスの提供を行う。

## (1) 施設利用状況

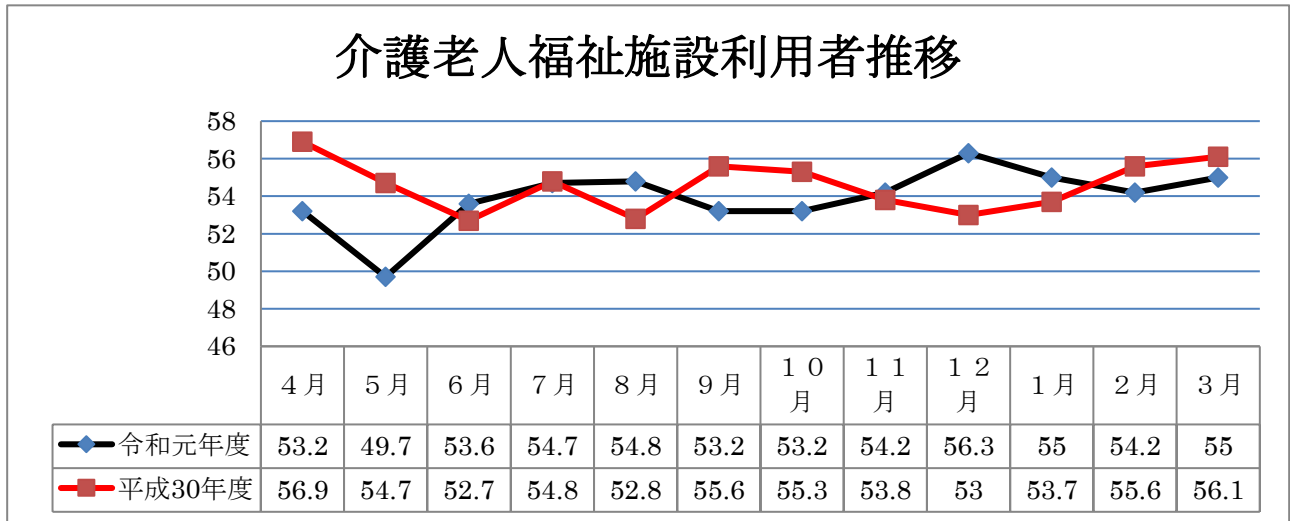
施設の利用状況は、表 1 のとおりである。令和元年度の年間延べ利用者数は、19,736 人(前年比-183 人)外泊算定者を合わせた 1 日平均で 53.9 人(同-0.7 人)、ベッド稼働率は 90%(-1%)。平均要介護度は 4.1 であった (同+0.2)。

入退所状況については、年度開始当初から退所後のスムーズな次入所予定者の受け入れに向けて、関係機関との連携や事前準備などを速やかに行えたが、多い月では入院日数が 200 日を超え、入院日数の長期化がみられた。入院日数は 1,632 日 (同+238 日) と増加。令和 2 年度は、日常の健康管理や入退院時に医療との連携を図ることで、入院日数の減少を図り、稼働率向上に努めていきたい。

表 1 介護老人福祉施設の利用状況

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
令和元年度	延利用者数	1595	1541	1607	1696	1700	1597	1649	1625	1745	1706	1571	1704	19,736
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
	1日平均(人)	53.2	49.7	53.6	54.7	54.8	53.2	53.2	54.2	56.3	55.0	54.2	55.0	53.9
	入院日数	151	231	143	95	130	178	185	118	115	131	103	52	1,632
	稼働率%	89%	83%	89%	91%	91%	89%	89%	90%	94%	92%	94%	92%	90%
前年度1日平均(人)	56.9	54.7	52.7	54.8	52.8	55.6	55.3	53.8	53.0	53.7	55.6	56.1	54.6	
入所者数	1	1	1	1	1	1	3	3	0	1	1	0	14	
退所者数	2	1	0	0	1	1	5	0	0	3	1	2	16	

図1 介護老人福祉施設の利用者数の推移



(2) 利用者の生活の状況

令和元年度の事業計画の重点項目「一人一人に寄り添った介護の充実を図る」に基づき、個別ケアの充実に取り組んだ。毎月のフロア会議等で個別処遇計画の見直しを行い、よりよい生活を送るために何が必要で何をすべきかということに重点を置いて、見直しを行った。

施設内の生活としては、季節を感じられる行事を中心に計画し、外出行事として、お花見と外食・買い物等で、季節感を感じられる行事を企画実行した。苑内行事としては、8月に夏祭り、11月には運動会、12月にクリスマス会を行い、2月には節分お楽しみ会などが実施できたことは苑外へなかなか出かけることができない利用者にとっても非常に喜ばれた様子であった。

表2 年間行事

4月	お花見（久御山中央公園 東一口 楽生苑周辺）、おやつ作り（たこ焼き）
5月	外食、買い物ツアー
6月	外食、買い物ツアー、おやつ作り（米粉クレープ）
7月	買い物ツアー、おやつ作り（フレンチトースト）
8月	夏祭り
9月	敬老祝賀式、おやつ作り（アイスクリーム）
10月	買い物ツアー
11月	運動会、おやつ作り（たこ焼き）
12月	クリスマス会、おやつ作り（フルーツポンチ）
1月	お正月遊び
2月	節分お楽しみ会、おやつ作り（シュークリーム）
3月	おやつ作り（フルーツサンド）

表3 利用者の状況 (R2.3.31現在)

<日常生活>

	自立	一部介助	全介助
食事	8	38	9
移乗	7	18	30
着脱	2	2	51
寝返り	8	14	33
入浴	0	2	53
排泄	2	16	37
移動	9	12	34
	なし	歩行器等	車椅子
歩行補助具	3	2	50
	自立	トイレ介助	おむつ交換
排泄(昼)	2	27	26
排泄(夜)	2	4	49
	一般浴	座位浴	臥位浴
入浴種類	0	27	28

<要介護状況>

要介護1	0
要介護2	0
要介護3	11
要介護4	25
要介護5	19
要介護平均	4.1

<平均年齢>

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	97	74	85.5
女	109	69	90.3
			89.4

<性別、年齢及び入所期間>

区分	～1年未満	1年以上～ 3年未満	3年以上～ 5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上～
60～64歳 男						
60～64歳 女						
65～69歳 男						
65～69歳 女	1					
70～74歳 男		2				
70～74歳 女		1				
75～79歳 男						
75～79歳 女	1					
80～84歳 男	1	1				
80～84歳 女		3	2	1		
85～89歳 男		2		1		
85～89歳 女	3	3	5	3	1	1
90～94歳 男						1
90～94歳 女	2	3	3	1		
95～99歳 男	1					
95～99歳 女	2	3	2	3		
100～104歳 男						
100～104歳 女						
105～歳 男						
105～歳 女				2		
	11	18	12	11	1	2

<認知症高齢者の日常生活自立度>

区分	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	その他	合計
男	0	1	1	1	3	1	1	0	0	8
女	3	5	3	7	13	8	8	0	0	47

<障害高齢者の日常生活自立度>

区分	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	その他	合計
男	0	0	0	0	2	1	4	1	0	0	8
女	0	0	0	2	3	14	22	1	5	0	47

### (3) 健康管理について

定期的な健康管理として、毎年4月に一般健康診断を行っている。何か異常があれば追加検査を行い、嘱託医より家族に説明し、今後の治療方針を相談・決定している。

NST会議（栄養サポートチーム会議）を継続し、特養利用者60名の既往歴に基づいた追跡検査等を行い、健康管理をすることで再発等予防していくことを目的としている。

入院者数について、延べ28人実人数24人（入院病名として肺炎、気管支炎・骨折・酸素濃度低下、尿路感染等）月平均4.2名入院している。死亡者については、12名（内入院中10名 施設内2名）であった。利用者の高齢化及び要介護度の上昇があり、入院者及び入院日数が増加してきており、稼働率に影響が出ている。

感染対策としては、地域での感染症情報の収集、施設内の感染症の把握、感染症の知識を職員で共有するなど、感染症対策委員会を中心に行ってきた。令和元年度の感染症としては、インフルエンザの発症者はなかった。予防対策として予防接種の実施や苑内に次亜塩素酸水噴霧器の設置や換気等を行うことで発症を防ぐことができた。新型コロナウイルスによる肺炎については、毎週対策会議を実施し、法人全体として対策に取り組んでいるところである。今後も継続的な感染防止対策会議の実施や行政等関係機関との連携を密に図り、感染予防の徹底に努めていきたい。

看取り介護について、指針の見直し点検や職員にむけての研修（苑外・苑内）を行った。昨年度は、1名の看取り介護を行ったが、今年度もさらなる体制の構築に取り組んでいきたい。

### (4) 栄養管理について

食事提供では平均栄養基準と実績（カッコ内）は、熱量1552kcal(1648cal) たんぱく質51g(67g)であった。利用者個々の身体状況、嗜好に配慮した食事提供ができた。又、嚥下・咀嚼機能の変化、疾病状況の変化に添い、迅速に対応できるよう給食委託業者と調整しながら行った。

厨房内の衛生管理については、委託業者内研修や情報提供などで、感染予防に努め対応できた。これからも衛生面や環境整備に取り組み、感染予防に努めていきたい。

栄養ケアマネジメントでは、個々の栄養管理について、久御山南病院との連携や多職種で構成される担当者会議において、食種の経緯・体重変化・血液データ・栄養状態のレベル、栄養ケアの経過報告等を基に今後の改善目標を設定し、一人一人の利用者の状況変化に対し、健康維持・疾病予防・栄養改善のための具体的な提供方法を検討し、実施してきた。又、摂食・嚥下障害対象者には、多職種による協働で口から食べる支援

を経口維持計画を立て、実施することで、さらに栄養管理を強化していくことができた。

<お誕生日食・行事食>

行事名	実施日	内容
4月お誕生日食	4月19日	松花弁当
節句の日	5月4日	ちらし寿司、鯛の潮汁、柏餅
5月お誕生日食	5月30日	松花弁当(手毬寿司、鱈の幽庵焼き等)
6月お誕生日	6月25日	洋食ランチ(冷製サーモンのレモンソースもしくは煮込みハンバーグ)
7月行事食	7月5日	七夕そうめん
7月お誕生日食・土用の丑	7月27日	鰻重弁当
8月お誕生日会	8月21日	精進散らし、小鯛の塩焼き、洋風冷やし茶碗蒸し、賀茂ナス等
9月お誕生日会・敬老祝賀式	9月25日	お祝い膳(赤飯、鯛の塩焼き、天ぷら)
10月お誕生日会	10月25日	松花堂弁当(きのこごはん、刺身盛り合わせ等)
11月お誕生日会	11月18日	寿司握り盛り合わせ
クリスマスパーティー	12月25日	洋食ランチ
お正月	1月1,2,3日	お節料理(お雑煮、海老さより手綱等)
1月お誕生日会	1月23日	海鮮丼
節分の日	2月3日	巻き寿司、いなり寿司等
2月お誕生日会	2月22日	松花堂弁当(蟹と生姜の炊き込みご飯、刺身等)
お雛様の日	3月2日	五日散らし寿司、炊き物(鯛の子、ふき)
3月お誕生日会	3月19日	すき焼き盛り合わせ

その他：選択食・おやつ作り等月2回実施した

食事内容(特養) R2.3.31現在 (人)

主食									副食						胃ろう
米飯	軟飯	全粥	おにぎり	パン	パン一口大	ジャムサンド	パン粥ペースト	パン粥ゼリー	L5(普通)	L5(一口大)	L4b(軟菜食)	L4a(ソフト食)	L3(ペースト食)	L2(ゼリー食)	
8	12	18	1	1	0	0	11	1	6	9	16	11	8	2	3

特別治療食 (人)

心臓食(塩分制限食)	脂質異常食	糖尿病食	膵臓・肝臓食	貧血食	腎臓食
8	1	7	0	1	0

## 2. ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）

定員 10 名

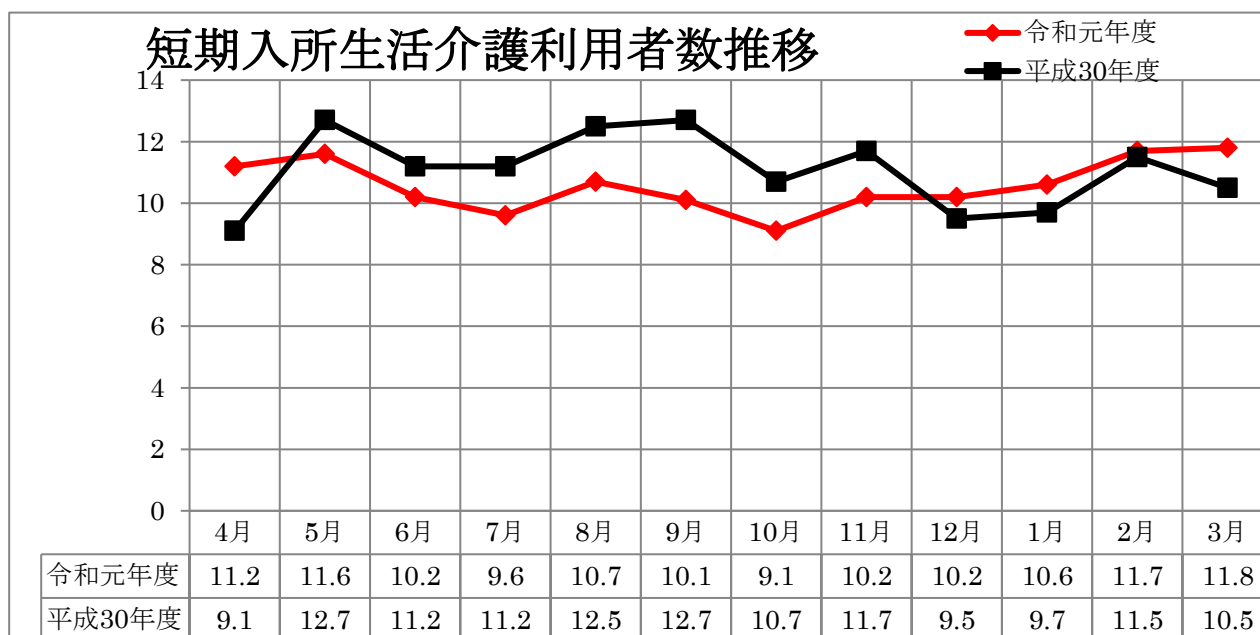
利用者数は、表 4 のとおりである。年間のベッド稼働率は 106%(前年比-5%) 延べ利用者数は 3,869 人(同-173 人) の方に利用していただいた。

稼働率に関して、昨年度より低下したため、今後もケアマネジャーに対しての働きかけや近隣市町村の居宅介護支援事業所および医療機関などへの利用者獲得の働きかけを続けながら、利用者数増加に繋げていきたい。

表 4 短期入所生活介護利用者の状況

ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
令和元年度	利用者数実績	335	360	305	299	331	304	282	305	315	328	339	366	3,869
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
	1日平均(人)	11.2	11.6	10.2	9.6	10.7	10.1	9.1	10.2	10.2	10.6	11.7	11.8	10.6
	稼働率%	112%	116%	102%	96%	107%	101%	91%	102%	102%	106%	121%	118%	106%
前年度1日平均(人)	9.1	12.7	11.2	11.2	12.5	12.7	10.7	11.7	9.5	9.7	11.5	10.5	11.1	

図 2 短期入所生活介護利用者数の推移





### 3. デイサービスセンター（通所介護、第1号通所型サービス）

定員 25 名

今年度は、7つの重点項目を掲げた。

- 1) 「利用者、家族の立場に立ったケアの提供」；今年度外出行事として、春は久御山・宇治方面に桜見、秋には宇治市源氏物語ミュージアムへ紅葉見学に行くことができた。年間を通じ、季節に応じた行事の実施ができた。利用者、家族の満足度を確認するアンケートの実施もできた。又、毎月のサービス向上委員会の中で、満足度向上の為の取り組みもできた。
- 2) 「利用人数の増加」；新規利用者数は昨年と比べ減少した。又、入院や体調不良での休みも多く、その空きをうまく埋めることができなかった。
- 3) 「機能訓練の充実」；在宅での状態を確認しながら様々なメニューを準備し、訓練を行うことができた。又、平成30年10月から開始した生活機能向上連携加算の算定についても、理学療法士との協議の中で、訓練内容の検討や実施状況等評価を行うことができ、順調に取り組みをすすめることができた。
- 4) 「地域とのつながり」；外出時においては、民生児童委員にボランティアとして参加頂いた。毎月、介護サポーターの来苑もあり、利用者の生の声を聞いたり、職員との意見交換を行うことができた。
- 5) 「安心、安全なサービス提供」；毎月の事故防止対策委員会にてヒヤリハット事例などの検証を行うことができた。
- 6) 「職員の育成」；定例会議や各種委員会（事故防止、サービス向上、感染症対策、身体拘束廃止）の中で、研修や勉強会を実施し、個別面談の中で個々の課題や目標を設定することもできた。
- 7) 「新総合事業について」；利用の依頼や希望に対し、久御山町地域包括支援センターとの連携を図り、早急に受け入れの対応ができた。

#### (1) 利用状況

利用者数は下表のとおりである。

##### 【7～8時間デイ】

年間延べ利用者総数 5,593 人（前年比-342 人）、1日当たりの平均利用者数は、年間平均で 18.2 人（前年比-1.2 人）であった。このうち、通所型サービスの利用者は、年間で 923 人（前年比-186 人）で総利用者数の 16.5%であった。

【3～4 時間デイ】

年間延べ利用者総数 286 人（前年比-92 人）、1 日当たりの平均利用者数は、年間平均で 1.0 人（前年比-0.3 人）であった。このうち、通所型サービスの利用者は、年間で 125 人（前年比+4 人）で総利用者数の 43.7%であった。

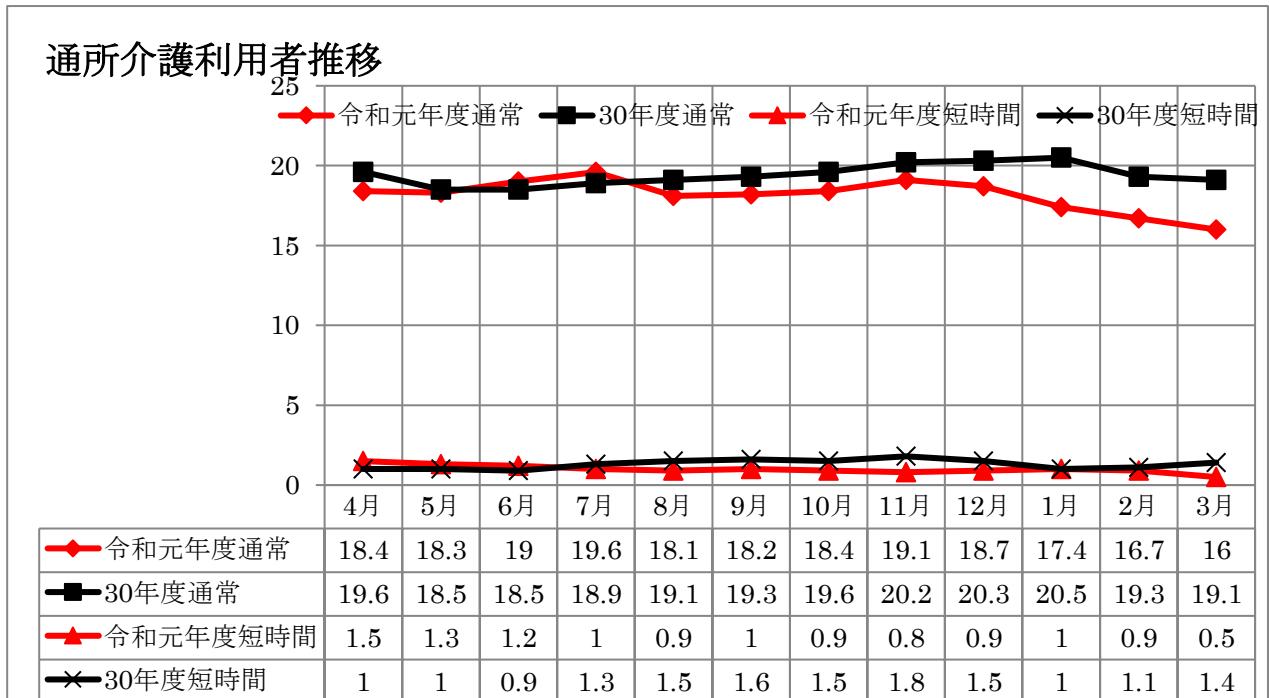
表 1

【7～8時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
令和元年度	延利用者数	479	494	474	530	488	455	478	496	449	417	418	415	5,593人
	稼働日数	26	27	25	27	27	25	26	26	24	24	25	26	308日
	1日平均	18.4	18.3	19	19.6	18.1	18.2	18.4	19.1	18.7	17.4	16.7	16	18.2人
	稼働率(%)	73.6	73.2	76	78.4	72.4	72.8	73.6	76.4	74.8	69.6	66.8	64	72.6%
平成30年度		19.6	18.5	18.5	18.9	19.1	19.3	19.6	20.2	20.3	20.5	19.3	19.1	19.4

【3～4時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
令和元年度	延利用者数	35	28	30	26	24	22	22	20	22	23	21	13	286人
	稼働日数	24	22	25	26	26	23	24	24	24	23	23	25	289日
	1日平均	1.5	1.3	1.2	1	0.9	1	0.9	0.8	0.9	1	0.9	0.5	1.0人
	稼働率(%)	30	26	24	20	18	20	18	16	18	20	18	10	19.9%
平成30年度		1	1	0.9	1.3	1.5	1.6	1.5	1.8	1.5	1	1.1	1.4	1.3



女性	1名	1名	5名	3名	13名	8名	2名	1名	2.0
計	1名	1名	10名	4名	18名	14名	6名	2名	2.2

表4【利用期間】

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年 以上
男性	5名	8名	1名	3名	3名	2名
女性	2名	10名	8名	9名	3名	2名
計	7名	18名	9名	12名	6名	4名

表5【日常生活】

食事			排泄			入浴			着脱			移動						
自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	一般浴	車椅子浴	ストレッチ チェアー浴	自立	一部介助	全介助	独歩		杖・歩行器		車椅子		
												自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助
53名	2名	1名	33名	12名	11名	36名	20名	0名	30名	21名	5名	6名	2名	25名	7名	3名	4名	9名

(2) 行事報告

4月	花見 : 栄町～宇治方面～東一口
5月	おやつ作り: 桜餅
6月	買物 : イオン久御山
7月	おやつ作り: 抹茶白玉あんみつ
8月	夏祭り
9月	交流会 : みまきこども園
10月	買物 : イオン久御山
11月	紅葉見学 : 宇治市源氏物語ミュージアム～宇治川ライン
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	買物 : イオン久御山 ※ 中止
3月	おやつ作り: どらやき

## 4. ケアハウス

定員 15 名

令和元年度は、入居利用者の心身の加齢に伴う虚弱化や要介護 3 が 3 名となり、今後は重度化傾向が進むと予想される。また、医療機関へ延命処置や終末期医療について、文書で明確に意思表示をしている方が複数おられるのも特徴である。

### 1. ケアハウス入退居状況

令和元年度は、退居者が 2 名（逝去 1 名、他 1 名）で入居者は 3 名であった。主な退居理由は、治療中の病気が悪化し急逝されたケースと一旦入居されたが、馴染めずに元の生活に戻られたケースである。

（各月初定員：15 名利用 年間 180 名利用）

表 1 入居年数

年度末在籍者調べ以下同

入居年数	～3年未満		3年～		6年～		9年～		12年以上		合計	
	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度
入居者数	5	5	4	4	0	1	1	1	5	4	15	15
年度別全体比	33%	33%	27%	27%	0%	7%	7%	7%	33%	27%	100%	100%

表 2 入居年数と介護度

入居年数	～3年未満		3年～		6年～		9年～		12年以上		合計	
	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度
自立									1		1	0
要支援1		1							3	2	3	3
要支援2	1	1	1	2		1	1		1	1	4	5
要介護1	1	1	1	1							2	2
要介護2	1	1	2	1							3	2
要介護3	1	1			1			1		1	2	3
要介護4											0	0
要介護5											0	0
合計	4	5	4	4	1	1	1	1	5	4	15	15
要介護2以上の割合	27%	33%	27%	27%	7%	7%	7%	7%	33%	27%		

表 3 入居年数と年齢

入居年数	～3年未満		3年～		6年～		9年～		12年以上		合計	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
80歳～84歳	1		2	2			1	1	1	1	5	4
85歳～89歳	1	1			1	1			1	2	3	4
90歳～94歳	3	3	2	2							5	5
95歳～									2	2	2	2
合計	5	4	4	4	1	1	1	1	4	5	15	15

## 2. 利用者の所得階層 月別稼働率一覧

表4 サービス提供に要する費用

対象収入(年収)の所得階層区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年	平成30年	個人徴収額
150万円以下	1				2	2	2	2	2	2	2	2	2	10%		7,000円
		5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	5	32%	34%	10,000円
150～160万円	2				1	1	1	1	1	1	1	1	1	5%		13,000円
160万1円～170万円	3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	12%	9%	16,000円
170万1円～180万円	4	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10%	19%	19,000円
180万1円～190万円	5	1	1	1										2%	9%	22,000円
190万1円～200万円	6				1	1	1	1	1	1	1	1	1	5%		25,000円
200万1円～210万円	7															30,000円
210万1円～220万円	8								1	1				1%		35,000円
220万1円～230万円	9														2%	40,000円
230万1円～240万円	10	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	13%	12%	45,000円
240万1円～250万円	11	2	2	2										3%	8%	50,000円
280万1円～290万円	15	1	1	1										2%	5%	78,000円
290万1円～300万円	16				1	1	1	1	1	1	1	1	1	5%	2%	85,000円
	計	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	15			
稼働率		100%	100%	100%	100%	100%	100%	93%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

(注) 1) 権利擁護事業利用：2名 生活保護：1名

2) 月負担額は、サービス提供費用＋生活費＋居住費＋水光熱費を含み11万円  
 まだが大半 (10,000～85,000) +44,810+28,000+水光熱費 (平均5,000)

## 3. 介護保険サービス利用者数

表5 実利用者数 (年度末)

サービス内容	R1	H30
訪問介護	12	11
訪問看護	1	1
通所介護	10	9
福祉用具貸与	12	10
合計	14	11

1) 介護保険サービス未利用 1人

介護予防事業いきいきスマイル塾利用

表6 利用回数 (年度末)

週		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計(人)
訪問介護	R1	5	1	1			1	4	12
	H30	4	3	1		1		2	11
訪問看護	R1	1							1
	H30	1							1
通所介護	R1		3	6		1			10
	H30	1	3	5					9

1) 要支援認定者で、通所介護を利用せずに訪問介護利用のみ3人

2) 訪問介護の最高利用頻度は、毎日朝・夕の排泄介助

## 4. 健康管理の実施

(ア) 年1回の特定健診を受診。結果を各自で主治医へ報告。必要に応じ肺炎球菌の予防接種を受けている。

(イ) インフルエンザの予防接種を行い、また、感染症防止のため手洗いの励行や消毒に努めた。

(ウ) 食事摂取量の変化は、健康のバロメーターと考え、異常に摂取量が少ない日が継続しないか観察した。

## 5、避難訓練

水害対応訓練含め、年3回の全館避難訓練を実施した。内1回は、夜間想定訓練を実施。その他、ケアハウスだけで2回避難訓練を実施した。

## 6、行事報告

1) 入居者が、それぞれのやりたいことが継続でき、生きがいを持ち楽しく日常生活を過ごして頂けるように、また、畑や屋上等で季節感やコミュニケーションをとりながら活動して頂けるよう各種の行事を実施した。

表7 年間行事一覧表

年 月	主な行事内容
4 月	東一口への花見、畑の耕し（ボランティア）、イズミヤへの買い物
5 月	買い物・昼食、さつまいも畑耕し・苗植え、久御山町第24回ふれあい福祉祭り、イズミヤ買い物
6 月	ミニ外出（音羽茶屋、大起水産・くら寿司、百円均一）9名、イズミヤ買い物、全館水害対応訓練
7 月	ケアハウス単独避難訓練（4階洗濯室出火、夜間想定）
8 月	久御山南病院・楽生苑合同夏祭り、トップセンターへの買い物、さつまいも畑草取り
9 月	敬老会、イズミヤ買い物、ミニ外出（伊賀もくもくファーム）、全館避難訓練（2階洗濯室出火、夜間想定）
10 月	イズミヤへの買い物
11 月	紅葉見学ミニ外出、さつまいも堀り（レンジで温め、おやつとして食べる）
12 月	インフルエンザ予防接種（希望者12名）、歌と踊りショー（遊楽の会ボランティア）、喫茶、クリスマスツリー飾りつけ
1 月	ご利用者への満足度アンケート調査、イズミヤへの買い物
2 月	お茶会（抹茶）、イズミヤへの買い物、全館避難訓練（3階介護員室出火、夜間想定）・ケアハウス単独避難訓練
3 月	茶話会・懇談会、イズミヤへの買い物、雛人形飾りつけ

## 4 ヘルパーステーション（訪問介護、介護予防訪問介護）

今年度については、年度後半のサービス提供責任者の減員及び毎日訪問していた利用者様の入院や入所になった結果、利用者数（前年度比-93）及び回数（同-397）は減少した。

前年度に続き、新しい居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの関わりや現利用者の増回利用等に対応できたため、利用者に安心していただくことはできたと思われる。

介護老人保健施設への入所、医療機関への入院や在宅復帰が困難になった方なども多くおられた。また、在宅での看取り支援については、支援に繋がる方は少なかったが、依頼は増加している。

今後の課題としては、訪問介護員の増員及び離職防止への取り組みを強化し、新規の依頼や日曜日・祝日、夕方から夜間時間帯の訪問が、より安定して提供できるような態勢の構築が必要である。

訪問介護員の研修については、希望するテーマも取り入れるなどにより、充実した内容となり、事業所内研修への出席率は昨年度より増加した。知識及び実技向上に繋がるようさらに内容を充実させ、スキルアップを図っていきたい。

日	時	事業所内研修	外部研修
4月	11日 20日	①認知症ケア研修	
5月	16日 18日	①減塩について	集団指導
6月	13日 15日	①熱中症・脱水・食中毒について	ヘルパーの行う生活援助について
7月	11日 13日	①ヘルパーの行う生活援助について	
8月	8日 10日	①口腔ケアについて②緊急時対応について	介護職のためのリハビリテーションステップ研修
9月	12日 14日	①介護技術（寝返り・ベッド上移動・起き上がり・立ち上がり・移乗）	
10月	10日 12日	①感染症②体圧分散・ポジショニングについて	難病患者等ホームヘルパー養成研修
11月	14日 16日	①調理実習	
12月	12日 14日	①パーキンソン病②意見交換会	
1月	9日 11日	①接遇について	
2月	13日 15日	①KYTについて	
3月	12日 14日	①ヒヤリハットについて	

2、ヘルパー派遣利用者数

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数(介護)	56	61	65	63	53	55	50	51	50	51	48	46	649
利用者数(予防)	38	41	43	40	41	39	37	42	40	38	38	41	478
合計	94	102	108	103	94	94	87	93	90	89	86	87	1,127

3、ヘルパー訪問回数

(単位:回)

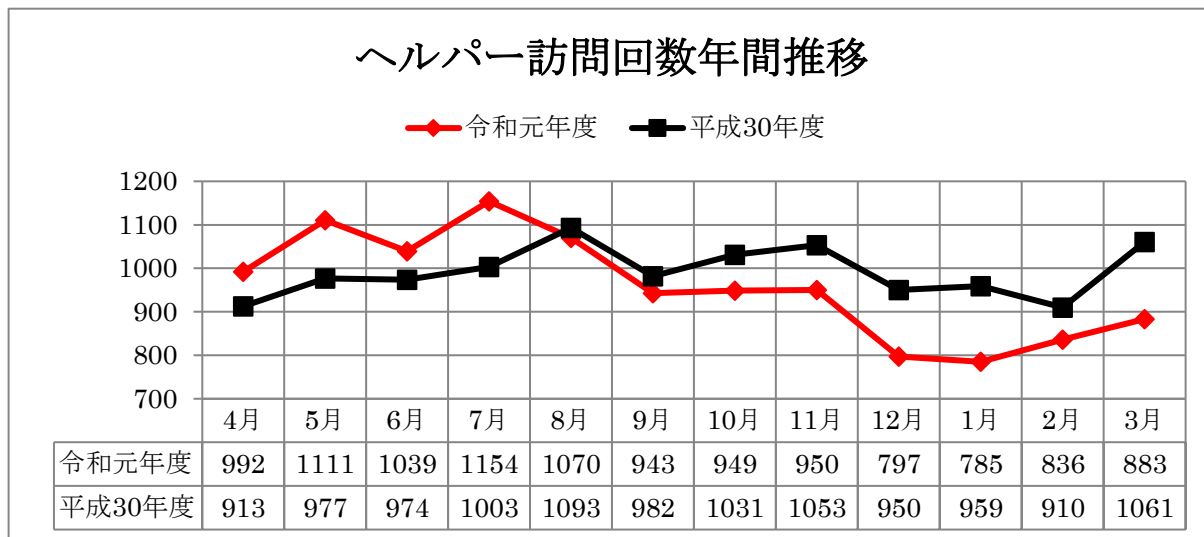
訪問回数	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	身体介護	377	435	426	468	421	361	352	329	321	334	338	346	4,508
身体生活	109	126	99	113	92	92	89	105	121	93	89	147	1,275	
生活援助	506	550	514	573	557	490	508	516	355	358	409	390	5,726	
合計(回)		992	1,111	1,039	1,154	1,070	943	949	950	797	785	836	883	11,509

4、ヘルパー訪問回数前年度比較(図1)

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	992	1,111	1,039	1,154	1,070	943	949	950	797	785	836	883	11,509
平成30年度	913	977	974	1,003	1,093	982	1,031	1,053	950	959	910	1,061	11,906
増減	79	134	65	151	-23	-39	-82	-103	-153	-174	-74	-178	-397

図1 ヘルパー累計訪問回数





## 5. 居宅介護支援事業所

今年度は給付管理件数 150 件／月を目標にしていたが、在宅復帰困難な入院や近隣市町村の介護老人保健施設やサービス付高齢者住宅、有料老人ホーム等施設への入所者数増加に伴い、月平均 120 件と目標に達することはできなかった。給付管理票提出件数は、1451 件(前年比+114 件) と増加。予防給付は、前年度の月平均 51 件から 44 件と減少した。

介護支援業務においては、昨年度から引き続き、ターミナル支援を含む医療機関退院後の支援や介護保険サービスだけでは生活支援が行き届かないため、インフォーマル支援の併用等多種多様なニーズへの対応や各関係機関およびサービス提供事業者との調整を要する機会が増加した。又、一人暮らしや高齢者世帯の支援などで、相談や訪問回数、時間なども増加している。定例会議や研修伝達会議、事例検討会などを定期的に開催し、事例の振り返り・確認を行うことができ、利用者の情報や支援内容を共有することができた。担当者のみならず、事業所全体で支援を行う取り組みができた。

令和元年度の課題として残った、定例会議のあり方や事例検討など内容の充実を図り、また、他職種との連携や質の高いケアマネジメントが実践できるような取り組みを行っていく必要がある。

### 1. ケアプラン作成実績 (図1)

(単位: 件)

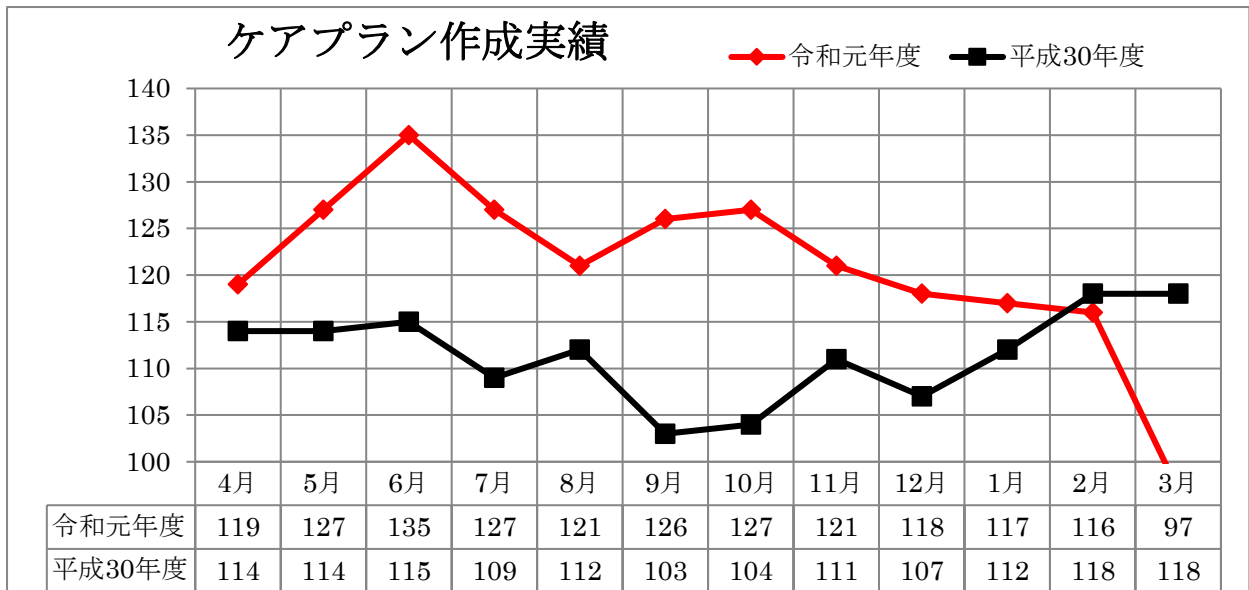
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	119	127	135	127	121	126	127	121	118	117	116	97	1,451
平成30年度	114	114	115	109	112	103	104	111	107	112	118	118	1,337

### 2. 要介護度別ケアプラン作成実績

(単位: 件)

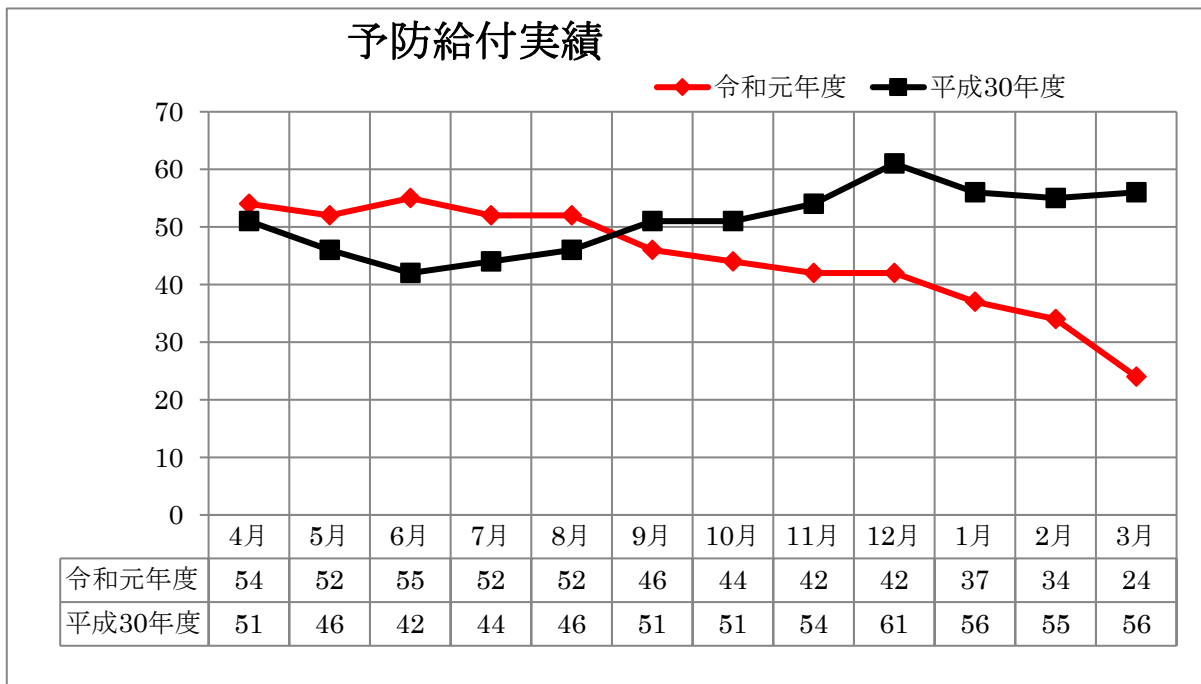
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	令和元年度	24	26	27	24	22	21	25	23	22	24	19	16	273
	平成30年度	21	19	18	20	18	18	19	19	19	20	21	25	237
要介護2	令和元年度	44	44	44	45	43	47	43	45	43	43	44	35	520
	平成30年度	44	43	50	44	48	40	38	42	42	43	49	46	529
要介護3	令和元年度	26	30	34	31	31	33	33	30	30	29	33	29	369
	平成30年度	27	23	25	23	23	23	25	24	26	26	26	24	295
要介護4	令和元年度	19	20	20	18	17	18	19	16	16	13	12	11	199
	平成30年度	15	23	16	17	18	17	17	21	16	19	16	17	212
要介護5	令和元年度	6	7	10	9	8	7	7	7	7	8	8	6	90
	平成30年度	7	6	6	5	5	5	5	5	4	4	6	6	64
居宅介護支援 介護給付費別 (年間総数)		令和元年度	介護度 1～2				793	介護度 3～5				658	合計	1,451
		平成30年度	介護度 1～2				766	介護度 3～5				571	合計	1,337

図1 ケアプラン作成実績



		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	令和元年度		54	52	55	52	52	46	44	42	42	37	34	24	534
	平成30年度		51	46	42	44	46	51	51	54	61	56	55	56	613

図2 予防給付実績



## 7. 令和元年度 研修一覧

特別養護老人ホーム・ケアハウス・デイサービスセンター

施主体	研修名
京都府	高齢者施設における感染症予防研修会 機能訓練指導員と介護職の協働・連携 介護保険サービス事業者等に係る集団指導 認知症リンクワーカー・フォローアップ研修 高齢者施設における感染症対策～高齢者に多いインフルエンザ・結核など～ 令和元年度京都府介護認定平準化研修
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	総会・施設長研修会 外国人介護人材の受入に係るセミナー
京都府地域包括ケア推進機構	介護施設における看取りケア研修
社会福祉法人 全国社会福祉協議会	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップ研修
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会	虐待予防へ！共感を得ることばセミナー
社会福祉法人 京都府経営者協議会	令和元年度社会福祉法人経営者セミナー
京都府・京都労働局・職業安定所	令和元年度企業内人権啓発推進員研修会・働き方改革関連法セミナー 労働条件自主点検セミナー（相談指導会）
久御山町社協	絆見守りネットワーク全体研修会 精神障害者の接し方や対応の仕方について
宇治市	他職種連携研修交流会 認知症初期集中支援チームにおける在宅医の役割
京都府介護支援専門員会	認知症高齢者の意思決定支援 施設ケアプランマスター
京都府社会福祉法人 経営者協議会	京都府社会福祉法人経営者セミナー
福祉人材・研修センター	京都介護・福祉職場面接会・相談会
(株) PCM	技能実習養成講習（実習責任者）

久御山町	介護支援専門員研修会
久御山町地域包括支援センター	地域ケア会議
やまきたリハビリテーション支援センター	やまきた地域連携のつどい

ヘルパーステーション

実施主体	研修名
山城北圏域 地域リハビリテーション支援事業	介護職のためのリハビリテーションステップ研修
京都府ホームヘルパー連絡協議会	ヘルパーの行う「生活援助」について ～ヘルパーの専門性を考える～
京都府福祉人材センター	難病患者等ホームヘルパー養成研修 基礎課程Ⅱ

居宅介護支援事業所

実施主体	研修名
京都府介護支援専門員会	令和元年度年度介護支援専門員及び主任介護支援専門員研修
久御山町地域包括支援センター	地域ケア会議
久御山町居宅介護支援事業所連絡会議	事例検討会
京都府	介護保険サービス事業者に係る集団指導 京都府介護支援専門員実務研修実習に係る 説明会 実習受入協力事業所講習会